

発刊日 平成 26 年 11 月 5 日

奈良体育学会会報

第 75 号 発行 奈良体育学会

事務局：天理大学体育学部（〒632-0071 天理市田井庄町 80）

ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会会員の皆様へ

奈良体育学会会長 中谷敏昭

朝夕の冷え込みが厳しくなり、各地では初雪の便りが届く季節となりましたが、いかにお過ごしでしょうか。

さて、会員の皆様に平成 26 年度奈良体育学会大会の案内を送らせていただきます。今年度は、松井良明先生（奈良工業高等専門学校）を座長に、『スポーツのススメ』をテーマとして公開シンポジウムを開催します。2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、スポーツ大会だけではなく、スポーツ・イベントの催しも増えてきました。この機会に、奈良体育学会が社会に果たす役割として、公開シンポジウムを開催しスポーツの魅力を多くの人に伝えるべきと考え、今年度のテーマを決めました。スポーツの魅力を再確認し、一人十色のスポーツライフを実現するきっかけにしていいただければ幸いです。

また、シンポジウムに先立ち、一般研究発表が 8 題予定されています。年に 1 度の学会大会ですので、是非ともご参加いただき幅広いメンバーと意見交換ができますこと期待しております。

平成 26 年度奈良体育学会大会のお知らせ

期 日：平成 26 年 11 月 29 日（土）

会 場：奈良女子大学理学部 G 棟 1 階 G101 教室（別紙の地図をご参照下さい）

後 援：奈良県教育委員会、奈良県

大会プログラム：

13:00～ 受付（G101 教室前）

13:15～13:25 平成 26 年度奈良体育学会総会（G101）

<一般発表>

13:30～14:50（発表時間 15 分、質疑応答 5 分）

第 1 会場（G101）

座長 高橋豪仁（奈良教育大学）

1-101-1（13:30～13:50）

「ラオスのスポーツ・学校体育の現状について」

○SAYARATH ^{サラヤット} Phonenaly ^{ボンナリー}（奈良教育大学大学院）

キーワード：ラオス、スポーツ、学校体育

要旨：ラオスのスポーツ・学校体育に関する資料、データなどは少ない。そこで、本研究はラオスの小・中・高校の児童生徒 483 名に調査を行い、ラオスのスポーツ・学校体育の現状について明らかにする。

1-101-2(13:50~14:10)

「柔道選手における目標設定に関する研究」

○藤後あさみ（奈良教育大学大学院）

キーワード：柔道、目標設定

要旨：柔道選手を対象とした目標設定のあり方について検討するために高校・大学における柔道部の指導者（5名）、選手（14名）にインタビュー調査を行った。その結果をもとに柔道競技で目標設定が、どう機能しているのかについて明らかにする。

1-101-3(14:10~14:30)

「「橿原道場」設立に関する一考察」

○渡邊昌史（武庫川女子大学）

キーワード：戦時期のスポーツ、運動施設、スポーツ振興

要旨：戦前の奈良には国内屈指のスポーツ施設が存在していた。昭和15年の起源2600年祝典記念事業における、奈良県独自の事業として橿原神宮外苑に建設された「橿原道場」である。本研究は橿原道場の設立の経緯について、時代背景から考察するものである。

1-101-4(14:30~14:50)

「体育やスポーツのイーハトーヴを求め、考えたこと」

○山本徳郎（奈良女子大学元教員）

キーワード：顕在化した負の部分、カニバリズム的、師範学校的

要旨：体育・スポーツの「負の部分」として、年平均約40名の子どもが亡くなる事故を「カニバリズム的」と捉え、これを許してきた人間観・子ども観を「師範学校的」として現状を批判的に考察し、再生可能性を探る。

第2会場（G102）

座長 中谷敏昭（天理大学）

2-102-1(13:30~13:50)

「バレーボールの攻撃場面におけるレシーバーの視覚探索活動」

○梅崎さゆり（天理大学）

要旨：大学バレーボール選手（熟練者）、バレーボール以外の体育会選手（非熟練者）を対象にコンビネーションを用いた攻撃映像を呈示し、レシーバーとしてスパイクコースを判断する際の視覚探索活動について技量レベル間で比較・検討した。

2-102-2(13:50~14:10)

「指導者育成のための大学、体育実技に関する発生運動学的考察—鉄棒運動を題材として—」

○松山尚道（天理大学）

キーワード：指導者育成

要旨：本研究は、ただ「できる」というだけでなく「教えられる」ということが求められる指導者を目指す学生に対する大学体育実技について考察を行うものである。中でも機械運動における鉄棒運動の「前方指示回転」を取り上げ、その成果について発表を行う。

2-102-3(14:10~14:30)

「高校野球選手におけるメンタルサポート～実力発揮・主体性に着目して～」

○村上弘明（奈良教育大学大学院）

キーワード：運動有能感、内発的動機づけ、プラス思考

要旨：高校野球選手を対象にメンタルトレーニング指導や個人面接等のメンタルサポートを行った。メンタルサポートを通して、次強く発揮できる選手・主体的に練習に参加できる選手の育成及びサポート法について検討を加えた。

2-102-4 (14:30~14:50)

「マスターズ選手の動きから探る円盤投げのキーマーション」

○山本大輔 (天理大学)

要旨：円盤投げは様々な体力要素を必要とする高速度で複雑な運動の一つである。これまでトップアスリーの動作を対象とした研究は多くなされてきているが、本研究では世界マスターズの円盤投げに出場した選手の動作に着目し、その特徴からパフォーマンス向上の鍵となる動きを探った。

15:00~17:00 公開シンポジウム (G101)

テーマ：「スポーツのススメ」

趣 旨：今年は1964の東京オリンピックからちょうど50年目の節目の年にあたります。いまやスポーツはグローバルな文化として世界中の人びとに享受されていますが、日本のスポーツを取り巻く状況はこの50年間でどう変わったのでしょうか。少子高齢化や自然災害といったひじょうに大きな問題以外にも、わたしたちの生活の変化そのものがスポーツの実施を困難にしている側面もあるように思います。今後もわたしたちがスポーツを楽しむためには何が必要なのでしょう。本シンポジウムではじっさいにスポーツを指導しておられるシンポジストの方々にそれぞれの現場が抱える問題を語っていただき、そこから今後のスポーツ指導の課題と展望を探ってみたいと考えています。

シンポジスト

岡澤哲子 (帝塚山大学)

「幼児とスポーツの関係～子どもは小さな大人か?～」

浦井善宏 (奈良県立添上高等学校校長)

「子どもたちがスポーツに親しむために～学校の役割について～」

井上邦子 (奈良教育大学)

「からだ教育とスポーツ～モンゴルのスポーツ事情より～」

星野聡子 (奈良女子大学)

「教養教育から発信するスポーツのススメ～奈良女子大学保健体育科目の取り組み～」

司会

松井良明 (奈良工業高等専門学校)

全体討論 (16時20分頃～)

17:00～ 懇親会 (奈良女子大学 大学会館1階生協食堂)

会費：3,000円

※当日受付可ですが、料理の注文の都合上できるだけ **11月21日(金)** までに
天理大・松本までお申し込み下さい。電話とファクス番号： 0743-63-2804

Eメール:n-matsu@sta.tenri-u.ac.jp

奈良女子大学構内図



奈良体育学会事務局よりお知らせ

○研究年報原稿依頼

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。

締め切り：平成27年1月30日(金)【消印有効】

提出先：奈良体育学会事務局（天理大学体育学部 松本宛）

※ CD-ROMなどの媒体と（添付ファイル可）、プリントアウトした印刷物とをご提出下さい。
折り返し受領のお知らせをしますので、メール等の連絡先を必ず添えて下さい。

書式：用紙A4、40字×40行 一段組、図表ともで4～6枚、上下左右の余白を20mm
（過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。）

※ 提出いただく原稿は、オフセット印刷しますので、完成原稿をお願いします。なお、カラー印刷をご希望の方は、白黒印刷のみに加えてカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただきますので、事前にお問い合わせください。

○日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

平成26年度の年度会費をお納め下さい。年会費は1,500円です。なお、2年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169
加入者名 奈良体育学会